

文庫あれこれ・人それぞれ◆2009年12月も残すところ10日余、というときに、伊東市は、大きな地震。18日昨日昼頃、取りあえず、遅延もなく、こちらにつきました。有難いことに本棚から本が落ちていたのは、ほんの数冊。◆夕方から時折揺れが続き、夜半にいたってはパソコンに向かっているとかなり大きいのがやってきて、さすがに机の下にもぐる気分になりました。お宅では地震対策は?◆でも、昨日は晴天で、風もあったせいか、途中みる富士山は素晴らしかった。となりに坐った博多からの女性客が、やっぱり富士を見ると、その雄大さに手を合わせたいかと話しているのが耳に入りましたが、同感、日本人という意識を再確認しますね。もっともこの富士山つながりで地震に見舞われるのでしょうか。◆さて、ともあれ今年も暮れてゆき、文庫だよりも今年最後です。今回は、子育て中のおかあさん、おとうさんにすこしお声をかけたいと思います。(あっ、来た!揺れです)◆今年もたくさんのお子さんが入会してくださり、とても嬉しいです。どの子にこんな本を、という気持ちで接することができたら、この文庫を開いた甲斐があるというもの。(実情は、ほかの雑事に追われて、お子さんの名前とお顔が繋がらなくなっているのですが)◆そして、お母さん同士が本に限らず、情報を交換し合っているのを見るのも嬉しい限りですが、庭に出て遊ぶ子どもたちはご自分の責任で見守っていただきたいです。元気に遊ぶ子どもたちを眺めるのは楽しいことですが、文庫の庭は遊びまわるところには作られていません。危険もあります。そして、そこまで文庫スタッフは手が廻りません。◆日曜のおはなし会はスタッフ、まだまだ手探りの状態ですが、いっしょに聴いてください、でなかったら、私語は、外でお願いします。◆ちいさな会員が、本を愛するあまり破ってしまうことがあります。仕方ないこと、育つ上での通過儀礼?でも、文庫の本はみんなのものです。弁償すればよい、ということではなく、自分のもの、みんなのものの区別は幼いときから自覚できるようにしましょう。◆ここは私設の図書館です。主催者とスタッフの良心で運営しています。みなさんにもっとたくさん、そしてよい読書環境をとスタッフ一同願っています。若い方々の心の支援をいただけますよう、年末にあたって敢えてお願いしました。みなさま、よい新年でありますよう (西村)

☆イベントのお知らせ☆

来年もたくさんイベントを開催します。
5月:アートフェスティバル期間ロングオープン
おはなし会・楽しい展示
7月:10周年記念海の日のおはなし会
文庫開設記念子どものおはなし会
8月:夏休みロングオープン
10月:秋の夜長のおはなし会
12月:クリスマスお楽しみ会・おはなし会

☆今後の開館スケジュール☆

- ◆10年1月は通常。16日(土)、17日(日)
 - ◆2月は通常。20日(土)、21日(日)
 - ◆3月は通常。20日(土)、21日(日)
 - ◆4月は通常。17日(土)、18日(日)
 - ◆5月は8日(土)~16日(日)
- ★文庫の時間:土曜日は午後2時~5時、
日曜日は午前10時~午後3時
★毎月開館日の日曜には、「子どものための小さなおはなし会」があります。
午前10:30~11:00
●文庫開館日は毎月、第3日曜とその前日の土曜日の2日です(従って第3土曜日でなく第2土曜日ということもあります)。

《楽しんで読み聞かせ・頑張っておはなし》
みんなで勉強会(おはなし・沙羅)
★1月は16日(土)11時~です。

連絡先:沙羅の樹文庫 電話 0557-51-3737

沙羅の樹文庫便り

No.40

(2009年12月号)



冬景色
本格的な寒さ到来!
伊豆には縁遠いこんな画像が目にとまりました。

よく眠る夢の枯野が青むまで
金子兜太

先日、娘婿が音楽を担当したこともあって、俳人・金子兜太さん、90歳のドキュメント映画の記念お祝いに紀伊国屋ホールに行ってきました。お年を疑いたくなる闊達さと、皮膚のつややかさに驚かされ、映写をみてさらに感銘をうけました。自分の根が土のうえにあること、伴侶の闘病の横に暮らしながら、自分があること、自分の処し方を悟ったこと、人は消滅するのでなく他界して姿を変えてそこそこにいるのだと。

『生きもの』というDVDが手元にあります。見たい方はお申し出下さい。

♥今年読んだ本の中からちょっとおススメ♥

急に何人かに方にお声をかけてお尋ねしました。

皆さんはどんな本が心に残りましたか?

『リリィ、はちみつ色の夏』(スー・モンク・キッド著 世界文化社 05) Tさん
『悼心人』(天童荒太著 文藝春秋 08) Tさん
『大誘拐』(天藤真著 東京創元社 00) Tさん
『さまよう刃』(東野圭吾著 角川書店 08) Kさん
『マチルダは小さな大天才』(ロアルド・ダール作評論社 05) Nさん
『優雅なハリネズミ』(ミュリエル・マルベリ著 早川書房 2008) Kさん
『少年譜』(伊集院静著 文藝春秋 2009) Mさん
『お金は銀行に預けるな』(勝間知代著 光文社新書 2007) Nさん
『魂萌え』(桐野夏生著 毎日新聞社 2005) Kさん
『泥の河』(蛭川 宮本輝著 集英社ほか) Kさん
『源氏物語 全 8 巻』(上野榮子訳 日本経済新聞社 2008) Sさん
『本泥棒』(マークス・ズーサック著 早川書房 07)
『猫を抱いて象と泳ぐ』(小川洋子著 文藝春秋 09)
『私小説』(水村美苗著 ちくま文庫 09) Mさん
『密命シリーズ 再生』(佐伯泰英著 祥伝社文庫 09) Oさん
『赤毛のアンシリーズ 8 冊』(モンゴメリ著 村岡花子訳 新潮文庫 2008) Kさん
『だるまさんが』『だるまさんと』『だるまさん』の』(かがくいひろし作 ブロンズ新社 08~9) Oさん
『狼に育てられた少女』(ジェイン・ヨーレン作 すぐ書房 1993) Kさん
『ピリー・ジョーの大地』(可憐・ヘス著 理論社 01)
『ベルおばさんが消えた朝』(ルース・ホワイト著 徳間書店 09) 『殺人者の涙』(ア=ロール・ポンドゥ著 小峰書店 08) 『縞模様のバジャマの少年』(ジョン・ポイン著 岩波書店 08) Mさん
『みーつけた』(もろはらじろう作 鈴木出版 09) 『よるのようちえん』(谷川俊太郎 福音館書店 1998) 『まめうしくんとこんにちは』(あきやまただし作 絵 PHP 研究所 08) 『なんのいろ はる なつ あき ふゆ 4 冊』(ビーゲン・セン作 リブリオ出版 09) Iさん

新刊・新入庫 紹介(大人の本)

日本文学:『これでよろしくて』(川上弘美著 中央公論新社) 『人生の色気』(古井由吉著 新潮社) 『ファミリーツリー』(小川糸著 ポプラ社) 『カテナ』(池澤夏樹著 新潮社) 『線路と河と母のまじわるところ』(小野正嗣著 朝日新聞出版) 『正弦曲線』(堀江敏幸著 中央公論新社) 『かけら』(青山七恵著 新潮社) 『圏外へ』(吉田篤弘著 小学館) 『偏愛ムラタ美術館』(村田喜代子著 平凡社) 『女湯にうかんでみれば』(堀ミチヨ著 新宿書房) 『大向うの人々』(山川静夫著 講談社) 『作家の愛したホテル』(伊集院静著 日経 BP 社) 『日常』(金子兜太著 ふらんす堂)

外国文学:『昼か夜に負うもの』(ヤスミナ・カドラ著 早川書房) 『生きて、語り伝える』(ガルシア・マルケス著 新潮社) 『若い芸術家の肖像』(ジェイムス・ジョイス著 集英社) 『殺人者たちの午後』(トニー・パーカー著 飛鳥新社) 『イタリア広場』(アントニオ・タブッキ著 白水社) 『戦場の掟』(スティューヴ・ファイナル著 講談社)

児童文学と子どもの研究書:『かいじゅうたちのいるところ』(デイヴ・エガーズ著 河出書房新社) 『世界少年少女文学リアリズム』(定松正編著 自由国民社) 『不思議がいっぱい! 日本昔ばなしの旅』(島尾真著 実業乃日本社) 『児童文学の境界へ—梨木香歩の世界』(藤本英二著 久山社) 『100 人の心に響いた絵本 100(別冊太陽)』(平凡社) 『画集いもとようこの世界』(金の星社) 『子どもの気持ちがわからないときに読む本』(杉山由美子著 岩崎書店) 『哲学する赤ちゃん』(なかえよしお作 上野紀子絵 ポプラ社) 『メニューにない本ください』(山崎慶子監修 フェリシモ出版) ★子育て中のお母さん方も、ぜひ、寸暇をみつけて読書を! 参考資料コーナーには、子育てに関わる本もあります。

その他:『すずしろ日記』(山口晃著 羽鳥書店) 『からだの一日』(ジェニファー・アッカーマン著 早川書房) 『エコを選ぶ力』(ダニエル・ゴールマン著 早川書房) 『しがみつかない生き方』(香山リカ著 幻冬舎新書) 『その言い方が人を怒らせる』(加藤重広著 ちくま新書) 『日本辺境論』(内田樹著 新潮新書) 『60 歳からの青春 18 キップ』(芦原伸著 新潮新書) 『頭のいい子の育て方』(安河内哲也著 中経出版)

文庫:『南総里見八犬伝』(平岩弓枝文 中公文庫) 『われら九人の戦鬼 上下』(柴田錬三郎著 集英社文庫) 『遠き面影 上下』(ロバート・ゴダード著 講談社文庫) 『書かれる手』(堀江敏幸著 平凡社ライブラリー) 『愛しの猫プリン』(小手鞠い著 ポプラ文庫) 『午前零時』(新潮文庫) 『読むだけですっきりわかる日本地理』(後藤武士著 宝島文庫) 『日曜日の夕刊』(重松清著 新潮文庫) 『わたしは日本軍「慰安婦」だった』(李容洙・高柳美知子著 新日本出版社) 『アウシュヴィッツでおきたこと』(マックス・マンハイマー著 角川学芸出版)

新刊・新入庫 紹介(子どもの本)

外国の創作

『トレッリおぼあちゃんのスペシャルメニュー』(シャロン・クリーチ作 評論社) 『ラウィーニア』(アーシュラ・ルグウィン 河出書房新社) 『ステフィとネッリの物語 海の深み・海の島・睡蓮の池・大海の光 4 冊』(アニカ・トール著 新宿書房) 『ニルスのふしぎな旅 上下』(ラーゲルレーヴ著 福音館書店) 『アンデルセン童話集 1』(高橋健二訳 小学館)

❖いつも子どもの本を寄贈して下さる広瀬さんから今回も 100 余冊いただきました!❖

あかちゃん絵本:『チチンパイプイいたいのいたいのとんでいけー』『ぶるんぷるんおかお』『あつ!』ほか 12 冊

絵本:『つくつくせんせいとつくまえんのくま』『ランドセルがやってきた』『がまんのかき』『おかえりたまご』『サンタさんになったよ』『へんなあさ』ほか 25 冊

外国絵本:『にんじんのたね』『皇帝にもらった花のたね』『ダンスのすきなジョセフィーヌ』『リタとナントカがっこうへいく』『リタとナントカのクリスマス』『わたしのおじいちゃん』はチャンピオン』『コウモリうみへいく』ほか 18 冊

紙芝居:『あざらしあーくんのゆきあそび』ほか 13

低学年読み物:『ゆっくり大きくなればいい』『きつねとたんぼぼ』『ママはおしゃべり』『合い言葉はかぶとむし』『地位さんりゅう』『ペリカンとうさんのおみやげ』『おばけのジョージてじなをする』ほか 25 冊

高学年読み物:『建具職人の千太郎』『こすもすべーかりー物語』『やぶ坂に吹く風』『パーシーの魔法の運動靴』ほか 11 冊

昔話:『子どもに語る中国の昔話』『シンデレラ』(絵本) 6 冊

科学絵本:『むしのきほん』『ホネホネどうぶつえん』『野の花えほん』『冒険発見大迷路』『化石・恐竜の大研究』12 冊

科学読み物:『動物と向きあって生きる』『戦国武将』11 冊

★赤ちゃん紙芝居は対象が 0 歳児だそうです。赤ちゃんの反応がみたいです。